

第 1 章. 製品及び会社情報

1.1 製品情報：ABS 素材 3D プリント用フィラメント

1.2 特定の用途：主として材料押出方式 3D プリントに用いる。

1.3 会社情報

製造業者：JF Polymers (Suzhou) Co. Ltd.

住所：

Haicheng Industrial Park
Building 7
Changshu Economic and Technological Zone (CEDZ)
Changshu, Suzhou, Jiangsu Province, 215513
China

電話番号/ファックス番号：+86-512-52096516 / +86-512-52096512

1.4 緊急連絡先

緊急時の電話番号：+86-512-52096516；又は地元の中毒事故管理局に連絡する。

第 2 章. 危険有害性の要約

2.1 本物質又は混合物の分類

2.1.1 危険物質指令 67/548/EEC 又は 1999/45/EC（修正版）による分類

本物質は危険物質指令 67/548/EEC（修正版）によって分類されない。

2.1.2 規則（EC）No 1272/2008（修正版）による分類

本物質は規則（EC）1272/2008（修正版）によって分類されない。

2.2 ラベル要素

非該当

2.3 その他の危険有害性

固体状態では刺激性はないと考えられる。高温・熔融状態では火傷の危険がある。

第 3 章. 組成、成分情報

3.1 物質

化学名	CAS 番号	重量%	暴露限界
アクリロニトリル-ブタジエン-スチレン共重合体	9003-56-9	> 98	なし

添加物		≤ 2	なし
-----	--	-----	----

第4章. 応急措置

4.1 応急措置方法

罹患者を危険区域から移動させ、同時に自分自身の安全も確保する。直ちに全ての汚染された衣服を脱ぐ。

4.1.1 吸入した場合： 溶融樹脂からガスが発生している場合、新鮮な空気のある場所に移動させる。対症療法を行う。

4.1.2 皮膚に接触した場合： ペレットやパウダーの場合、水で洗い流す。溶融体の場合、接触した皮膚および衣服を大量の水（と石鹸）で洗う。医師の診察を受ける。

4.1.3 眼に入った場合： ペレットやパウダーの場合、大量の水で15分以上洗眼する。ダスト粒子が依然として残っている場合、医師の診察を受ける。

高温の溶融樹脂からガスが発生している場合、大量の水で15分以上洗眼する。必要があれば医師の診察を受ける。

4.1.4 飲み込んだ場合： 吐き出させる。口を水ですすぐ。必要があれば医師の診察を受ける。

4.2 最重要症状及び影響（急性及び遅発性）

粉塵：皮膚の刺激、眼の刺激および充血

4.3 迅速な医療機関受診と必要な特別処置に関する指示

対症療法を行う（汚染除去、生体機能）。

第5章. 火災時の措置

5.1 適切な消火剤

水、泡消火剤、ドライケミカルパウダー

5.2 本物質又は混合物の特定危険有害性

非該当

5.3 消火をする者への助言

保護具：自給式呼吸装置

第6章. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具、緊急時の対応

地面に残ったフィラメントにより滑る恐れがある。

- 保護具を着用すること。
- 適切な換気を確保すること。
- 発火源からは遠ざけること。
- 保護具を着用していない人を遠ざけること。

6.2 環境に対する注意事項

製品を下水道や水域に漏出させないこと。製品が水域や下水道、または土壌に漏出した場合、関係機関に報告する。

6.3 封じ込め及び浄化の方法・機材

汚染されていない場合は元に戻すか、または廃棄する。

第7章. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いに関する注意事項

火災を防ぐ方法：取扱区域および周辺では火気厳禁とする。

エアロゾルおよび粉塵の発生を防ぐ方法：粉塵の蓄積を防ぐため厳格な清掃基準を維持する。粉末の存在による粉塵爆発を防ぐため、空気を送るパイプ、バッグフィルター、ホッパーといった装置に静電気除去装置および接地装置を取り付けること。バッグフィルターには導電性フィルターを使用する。

7.2 安全な保管条件

常温で保管すること。高湿度に晒さない。他の製品と一緒に保管することについては特に制約はない。涼しくて乾燥した場所に保管すること。直射日光、雨、激しい温度変化には晒さない。保管場所および周囲では火気厳禁とする。

第8章. 暴露防止及び人に対する保護措置

8.1 管理パラメータ

暴露限界：規定なし

8.2 工学的制御

プリント中のような、粉塵が発生したり材料が溶融したりする場合には適切な排気を行うこと。

8.3 人体の保護

高温・溶融物質を取扱う時は手袋を着用すること。

第9章. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的・化学的性質に関する情報

状態：固体

外観：フィラメント

色：多種

臭気：なし、または無視できる程度

臭気閾値：なし

pH：非該当

融点 / 凝固点：未決定

沸点：非該当

引火点：404 °C

蒸発速度：非該当

可燃性：情報なし

上限 / 下限可燃性又は爆発限界：45 g/m³（開放法、粉末）

蒸気圧：非該当

蒸気密度：非該当

比重：1.03~1.10 g/cm³

おおよその溶解性：不溶

分配係数（n-オクタノール / 水）：データなし

自然発火温度：466 °C

分解温度：分解開始 > 380 °C

粘度：非該当

第10章. 安定性及び反応性

10.1 反応性

通常の実験および保管条件では反応性はない。

10.2 化学的安定性

通常の実験および保管条件では安定である。

10.3 危険有害な反応性

データなし

10.4 避けるべき条件

過度の熱、炎、および全ての発火源を避ける。

10.5 混触危険物質

非該当

10.6 危険有害な分解生成物

非該当

第 11 章. 有害性情報

11.1 暴露の起こり得る経路

吸入：粉塵は呼吸器系を刺激し、咳や呼吸困難を引き起こす恐れがある。

皮膚との接触：粉塵は皮膚を刺激する恐れがある。

眼との接触：粉塵は眼を刺激する恐れがある。

飲み込み：飲み込んだ場合、不快感を引き起こす恐れがある。

11.2 症状

粉塵は喉や呼吸器系を刺激して咳を引き起こす恐れがある。じかに眼に入った場合、一時的な刺激を引き起こす恐れがある。

11.3 毒性効果に関する情報

急性毒性（経口）：データ不足

急性毒性（経皮）：データ不足

急性毒性（吸入）：データ不足

皮膚腐食 / 刺激性：データ不足。刺激を引き起こす恐れあり。

眼の損傷 / 眼への刺激性：データ不足。刺激を引き起こす恐れあり。

呼吸器感作性：データ不足。呼吸器感作性があるとは考えられない。

皮膚感作性：データ不足。皮膚感作性があるとは考えられない。

生殖細胞変異原性 / 遺伝毒性：データ不足。生殖細胞変異原性 / 遺伝毒性があるとは考えられない。

発がん性：データ不足。発がん性があるとは考えられない。

生殖毒性：データ不足。生殖毒性があるとは考えられない。

特定標的臓器毒性 – 単回暴露：データ不足。

粉塵：眼、呼吸器、皮膚への刺激を引き起こす。

特定標的臓器毒性 – 反復暴露：データ不足。

第12章. 環境影響情報

12.1 毒性

短期水生毒性：成分に関する利用可能データによると分類基準には該当しない。LC(50)_{mixture} = 5.78 mg/l (積み上げ法、本混合物の92.5%の毒性情報が利用可能である)

長期水生毒性：成分に関する利用可能データによると分類基準に該当し、本混合物はAquatic Chronic 1に分類される。NOEC_{mixture} = 0.0079 mg/l (積み上げ法、本混合物の78%の毒性情報が利用可能である)

12.2 残留性及び分解性

詳細情報：

生分解性：本製品は易生分解性ではない。

本製品は環境中に残留する可能性がある。

下水処理場への影響：

下水処理場では機械的に分離され得る。

12.3 生体蓄積性

生体蓄積を避けるため、樹脂を海やその他の水域に廃棄してはならない。

12.4 土壌中の移動性

情報なし。

12.5 その他の悪影響

一般情報：地下水、地表水、および下水に流さないこと。

第13章. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品および包装材の廃棄：現行の地域の規則に従って廃棄すること。

廃棄物処理関連情報：不適切な焼却によりCO、HCN、AN、SMなど有害ガスが発生する恐れがある。

第14章. 輸送上の注意

ADR/RID

14.1 国連番号

非該当

14.2 国連正式品名

正式品名：規制なし

14.3 輸送に関する危険物クラス

非該当

14.4 容器等級

非該当

14.5 環境に対する危険有害性

利用可能データに基づくと、環境に対して危険有害とは考えられない。

14.6 特別な使用上の注意

特別規定：データなし 危険有害性識別番号：データなし

ADNR/ADN

14.1 国連番号

非該当

14.2 国連正式品名

正式品名：規制なし

14.3 輸送に関する危険物クラス

非該当

14.4 容器等級

非該当

14.5 環境に対する危険有害性

利用可能データに基づくと、環境に対して危険有害とは考えられない。

14.6 特別な使用上の注意

EMS 番号：非該当

14.7 MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードに準拠したバルク輸送

非該当

ICAO/IATA

14.1 国連番号

非該当

14.2 国連正式品名

正式品名：規制なし

14.3 輸送に関する危険物クラス

非該当

14.4 容器等級

非該当

14.5 環境に対する危険有害性

利用可能データに基づく、環境に対して危険有害とは考えられない。

14.6 特別な使用上の注意

データなし

第 15 章. 適用法令

15.1 本物質又は混合物に関する安全性、健康、及び環境に関する規則・法律

使用に関する認可および（または）制限：なし

その他の EU 規則：下記の物質は欧州セベソ指令のもとで規制されている：

物質	セベソ区分	その他のセベソ区分	セベソ濃度	区分
アクリロニトリル	2	9ii 7b	10% ≤ C < 20%	2
1,3-ブタジエン	0	8	-	-
スチレン	6	-	C ≥ 12.5%	-

15.2 化学物質安全性評価

本物質に関する化学物質安全性評価は必要とされていない。

15.3 日本規定

化学リスク情報プラットフォーム（CHRIP）：	リスクされています。
労働安全衛生法	非該当
危険有害物質	非該当
有機溶剤中毒予防規則	非該当
指定化学物質による	
危険有害性防止規則	非該当
鉛中毒予防規則	非該当
中毒および毒性物質管理法	非該当
PRTR および化学促進	
管理法（PRTR 法）	リスクされている成分はありません
消防法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス安全法	非該当
輸出貿易管理令	非該当
廃棄物処理法	非該当

第 16 章. その他の情報

改訂情報

本版の改訂日：2018年7月3日

免責事項

上記に記載している情報は、現在入手できる限りの情報を用いて正確性に万全を期しています。しかし、その情報に関して、明示又は黙示を問わず、商品性の保証、又は他のいかなる保証も行わず、その使用の結果に関する法的責任を負うこともありません。本文書は、製品のいかなる特定の特徴を保証するものでもなければ、法的に有効な契約関係を確立するものでもありません。